

浜松河川国道事務所は浜松市とともに平成30年1月31日（水）、佐久間歴史と民話の郷会館において「天竜川勉強会（第4回）～天竜川とともに生きる～」を開催し、約100名の方に参加していただきました。

勉強会は佐久間ダム完成60年を期に企画（第1回を平成28年10月に開催）したもので、今回は浜松市 産業部参与（エネルギー政策担当）北村氏より、「浜松市のエネルギー政策」について、浜松河川国道事務所より、「天竜川ダム再編事業について」の講演を行いました。

- 当事務所 開発工務課長 より、「天竜川ダム再編事業について」と題し、近年、全国的に頻発する大規模洪水災害や降雨の状況から、計画的な洪水対策実施の必要性、また海岸を形成する砂の多くが佐久間ダム貯水池に堆積している状況を紹介し、佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保し、洪水調節に支障がないよう堆砂対策としてダム下流河川へ土砂を還元するという当事業の重要性を説明しました。
- 浜松市産業部北村参与より「浜松市のエネルギー政策」と題し浜松市の再生可能エネルギー利用による完全自給自足の実現可能性について、「電力のまち」として認知されている佐久間町の地域資源を活かしたプロジェクトについて講演をいただきました。
- パネル展示では、天竜川ダム再編事業に関する環境調査により佐久間町で確認された動植物の写真展示を行いました。

【会場内の様子】



【パネル展示の様子】



【開発工務課長による説明】



【浜松市北村参与 による講演】

